

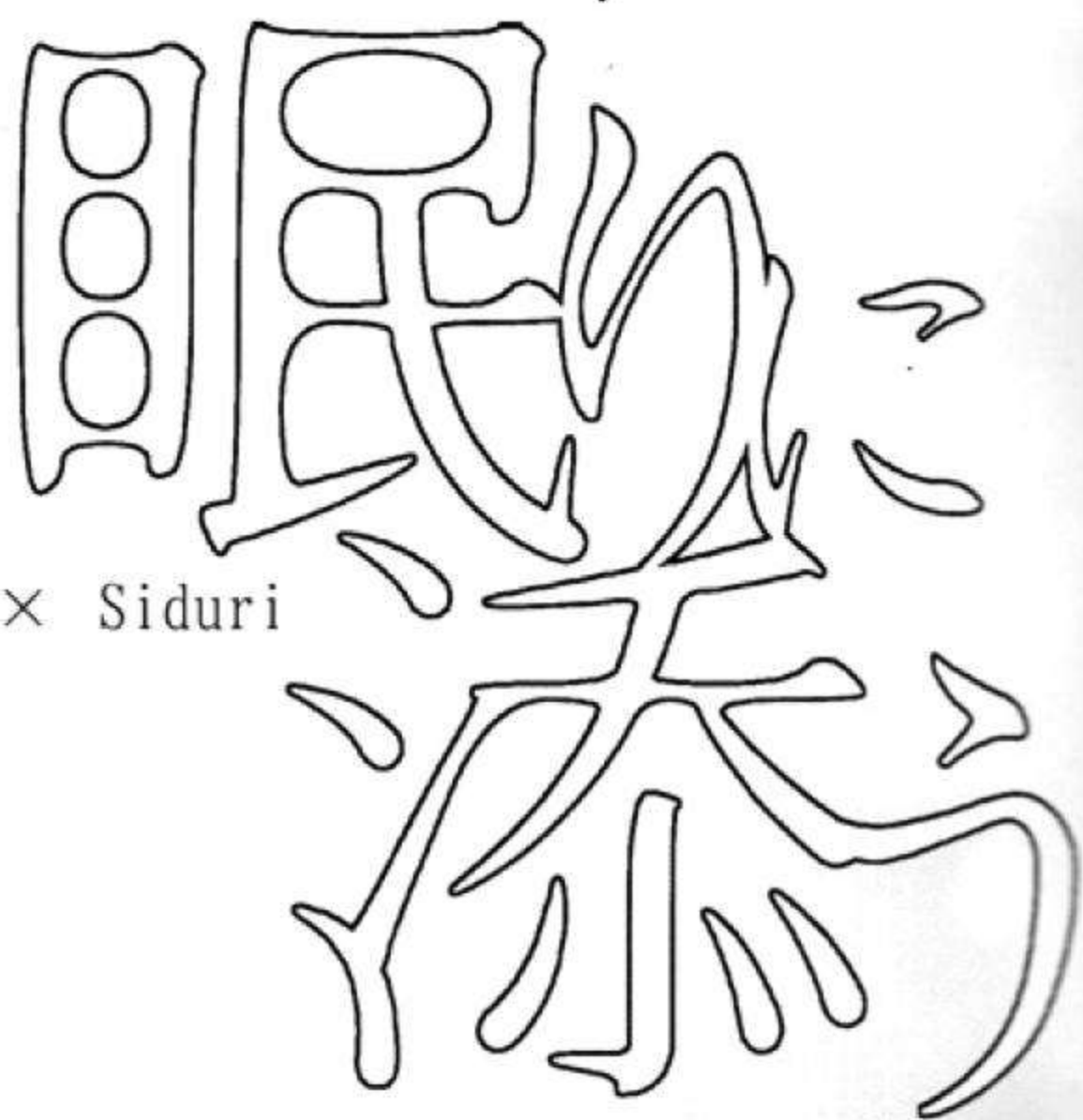


眠る 森

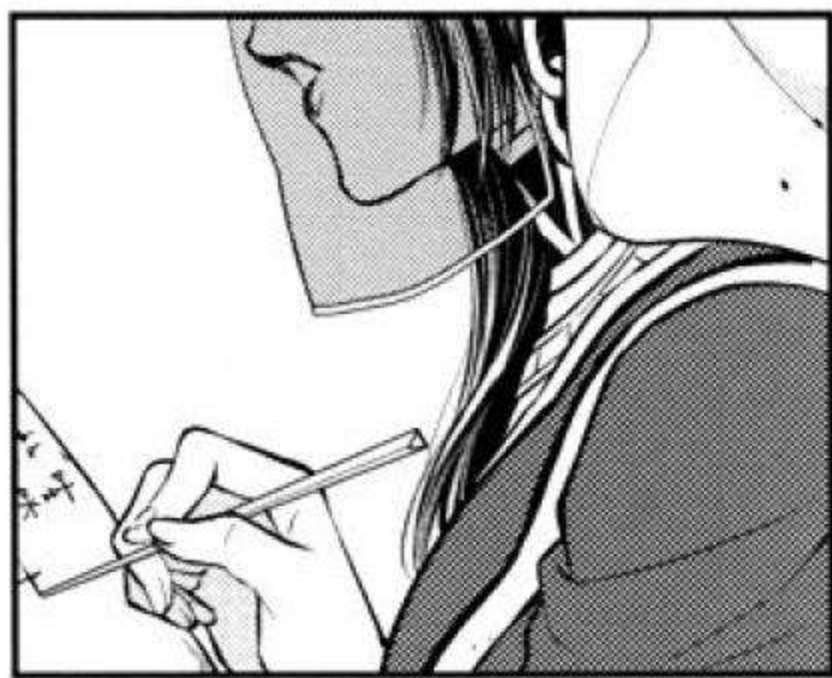
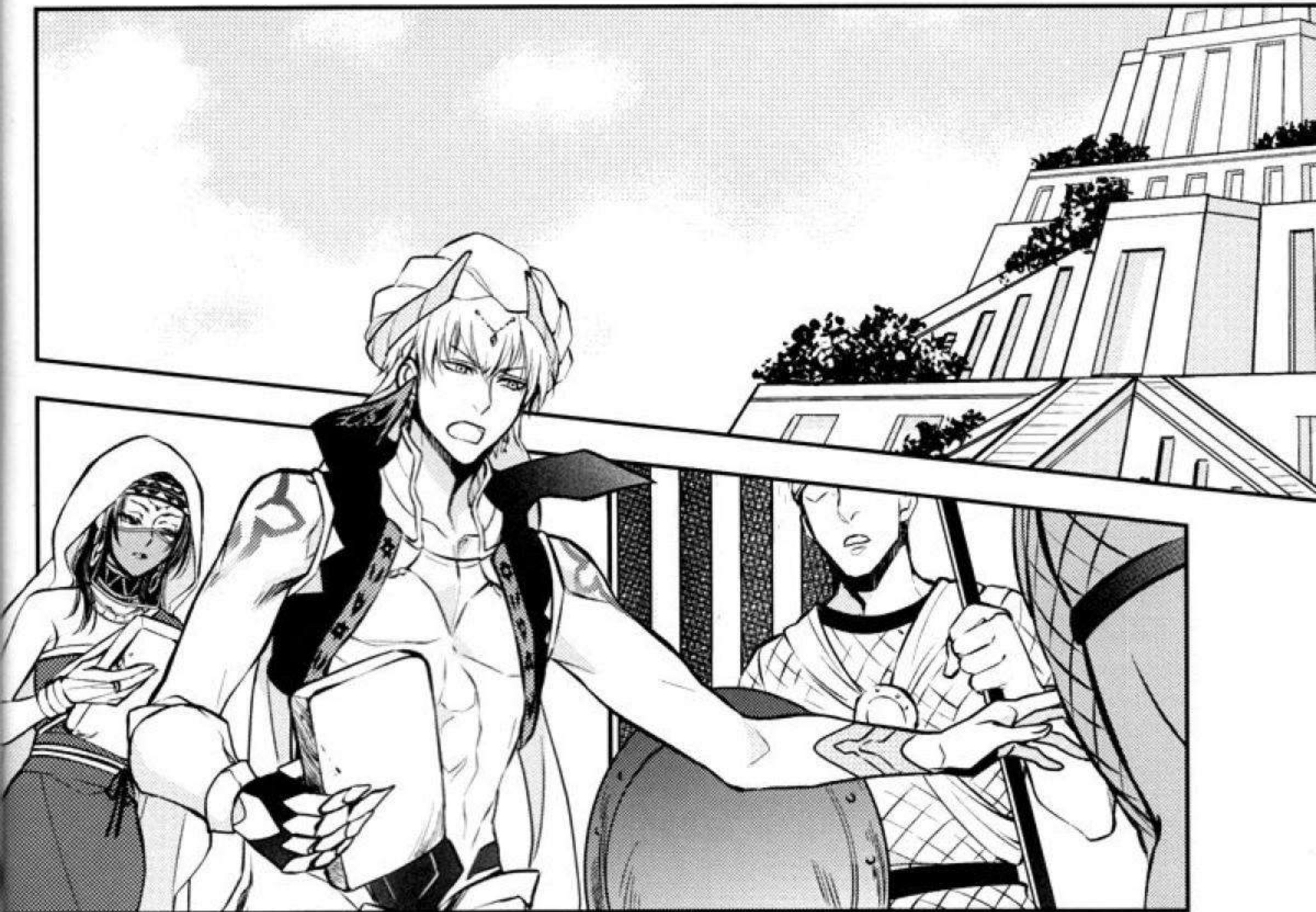
DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

カルデア一行が
到着する数ヶ月前の
ウルクの話



Gilgamesh × Siduri



王、
夜も更けてまいりました故
今宵はお休みになられては
いかがでございますでしょうか

政務の方も
切りの良い所で
ございますれば

……そうだな

だが
休まねばならぬのは
貴様の方であろうが

え…

あ…

目下にくるきりくま

己の顔を
よく見てみよ!!!

ろくに寝て
おらぬのが
一目瞭然だ!!!

こたびの戦は
籠城戦

全力で働き
全力で休めと
申し渡したはずだな
シドゥリ

は…はい
確かに

つい、床の中で
これからのことを
考えてしまつて……

私の采配に
不満があるか？
我が信じられぬと
言うか

いい、いえ
そのような事は

その顔が
如実に語つて
おるわ

不敬だぞ
シドゥリ

これは
私の不徳故の事
王に落ち度など
一片もございません

……ふん
馬鹿者め

見えぬ者が
不確かな未来に
思いを馳せ嘆くなど
滑稽としか言いようが
ないわ

簡単な事だ
考える事すらできぬ程
働けばよいである

シドウリ

グ
イツ

ああ！
はい！

おっしゃる通りで
ございますね

王もすつきり
お休みに
なれますし

少しは
恥じらわぬか!!!

まあ……ふふふ
それは今さらで
ございませう

フッ

つまらぬな
興が削がれたぞ

あ…

申し訳
ございません

ですがさすがに私も
しとねに侍ればば
恥じらいますしう

それともまた
王座の上で
なさいますか？

我は眠ると
言つたであらう
寝所に行くぞ
シドゥリ

はい

フッ



—王!?



やはりな



すこし瘦せたな?
シドゥリ

え……あ
—はい

情肉をぶらさげるのは
言語道断だが

骨と皮ばかりでは
私の枕に
ならぬではないか

申し訳
ありません……

枕？

そうだと
事がすんだ後は
私の健やかな眠りの
役に立つがいい

はい
仰せのままに

自己管理も
私の仕事で
ございますね

そうだと

き



ん……っ



頬が
朱に染まったな
シドウリ

疲弊している割には
感度が良いではないか

っ……あっ

は……い
その……ようです



貴様がただの女に
落ちる様を見るのは

何度見ても
愉快よな

あ…

う……っ



はしたなく
股ぐらを濡らしおって

そんなにも
我が欲しいか

ここであろう？

っ…あッ

あッッ

グニャ

グニャ



体は正直よな

あッ!!!

ん……あッ!!!

ジュンジュン



いくのはまだ早いぞ

は……はい
で……ですが
そのように
擦られては……



そうか
もっと欲しいか

ん……ああッ

ジュンジュン



あッ

んっ

んっ

んっ

あッ!!!

あッ!!!

あッ

んっ



んっ!!!

う……あッ!!!

んっ

んっ



気絶したか？

果てたか
そう慌てるな
夜は長いぞ？

グッ

フッ



寝おった!!!

常日頃の
我に対しての
遠慮のない物言い……

貴様の忠義故
特に許してきた

だが
私の寝所に呼ばれ
事をなす前に
早々に寝るだと？

許しがたき不敬よな

有事でなければ
その首、即刻
落としている
ところであるぞ

私の床で
緩み切った
顔で寝るか

馬鹿者が



そーいえばー



寝ている女を
抱くのを好む
輩がいるな

人形を抱くようなものと
バカにしておったが……

あ……



ほう？
多少の反応は
あるかー

ならば……



んんっ

おっ

んんっ

んんっ

これでも起きぬか
相当深い
眠りと見える

抱きなれた体
難なく
我を招き入れるのは
道理だが……

ふん

私の許し無く眠ったのだ
何をされても
文句は言えぬな？
シドゥリ

7-10

7-10
7-10

やっぱり
つまらない



ジュジュ



——よいぞ

ふははははは



ふ……



ならば意地でも
起こしてやろうでは
ないか!!!



ん……

#レレ

ん……

#レレ

#レレ

ん……

あ……

ん……ああっ

ハッ
ハッ

ド
30
30
ハッ
ハッ



たわけが
寝汚いにも
程があるう

ああ!!!



ようやく
目が覚めたか
シドゥリ

ハハハッ



もっ
申し訳ありま……

あああッッ!!!



ひっ...あっツツ

あっ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

っ...あっ

アッ

アッ
アッ
アッ

ん...ああっ!!!



この締め付け...
絶頂に至ったか

目覚めた直後とはいえ
寝ている間も
反応していたからな

下準備はすでに
整っていたと
言う事か

アッ

アッ

グストッ

存分に
味わうがいい

ああッつ!!!

おろろろ

あつ

あッつ

ふ……

あッつ

ははは

あッ!!!

つ……あつ



泣け

喚け!!!

さすれば
今宵の不敬
不問に処して
やろう!!!

あッッ

チチチ

また
果てたか?

ほほう……
よい締め付けた
絡み付いてくるぞ

あああッッ!!!

ん……くッッ

あッ

う……っ



寝ている間に
さんざん髭った
かいがあったわ

どうだ
シドゥリ

なにか
答えてみよ

うっ……あ

あ……

あ……頭の中が
真っ白で……
なにも……



よいぞ

はあ
はあ

考えられま
……せん

はあ



今宵の目的は
果たせたな

あつ

うッ……あ



我もようやく
気がすんだわ

枕になれ
シドゥリ

シドゥリ

ははは

眠るとするか

シドゥリ

どうした？

い…いえ
何も…



まだ出てくる……
後ろからも……

痛みもある……

もぞもぞ
つぼみ



寝ている間に
何を——

鼓動がうるさいぞ
シドウリ
いつまで興奮して
おるか



王は穏やかに
なられた――

以前ならば
眠りはそのまま
冥界への旅立ちと
なっただろう

今この国は
王がいなくては
立ち行かない

どうか
ゆっくりお休み下さい――



む……

朝か——

もう日が
高いではないか

なぜ我を
起こさなかった
シドゥリ

……



どうした

ない……いえ
ない……いも……

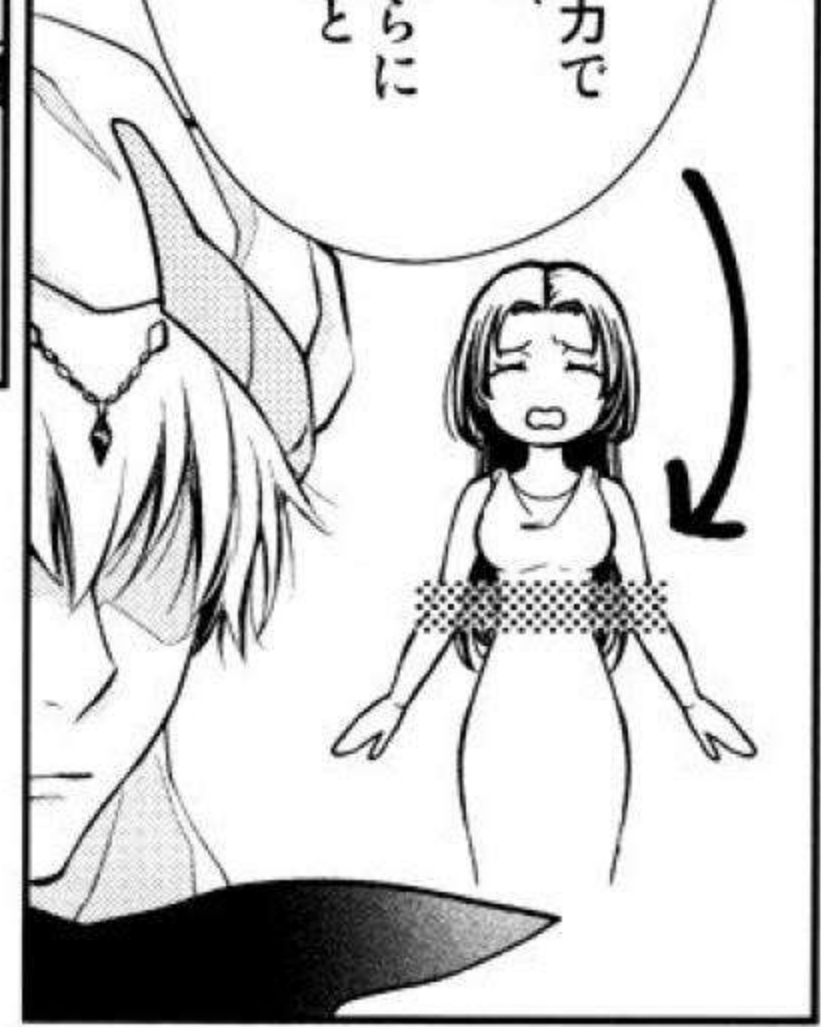
なにもなくは
あるまい!!!

あばらにひびが
入っておりますな

胸部下を強い力で
締め付けられ、
その結果
ぐるりとあばらに
ひびが入ったと
思われます



わざとでは
ないぞ？



貴様も貴様だ
シドウリ

我を起こせば
いいだけだろう!!!

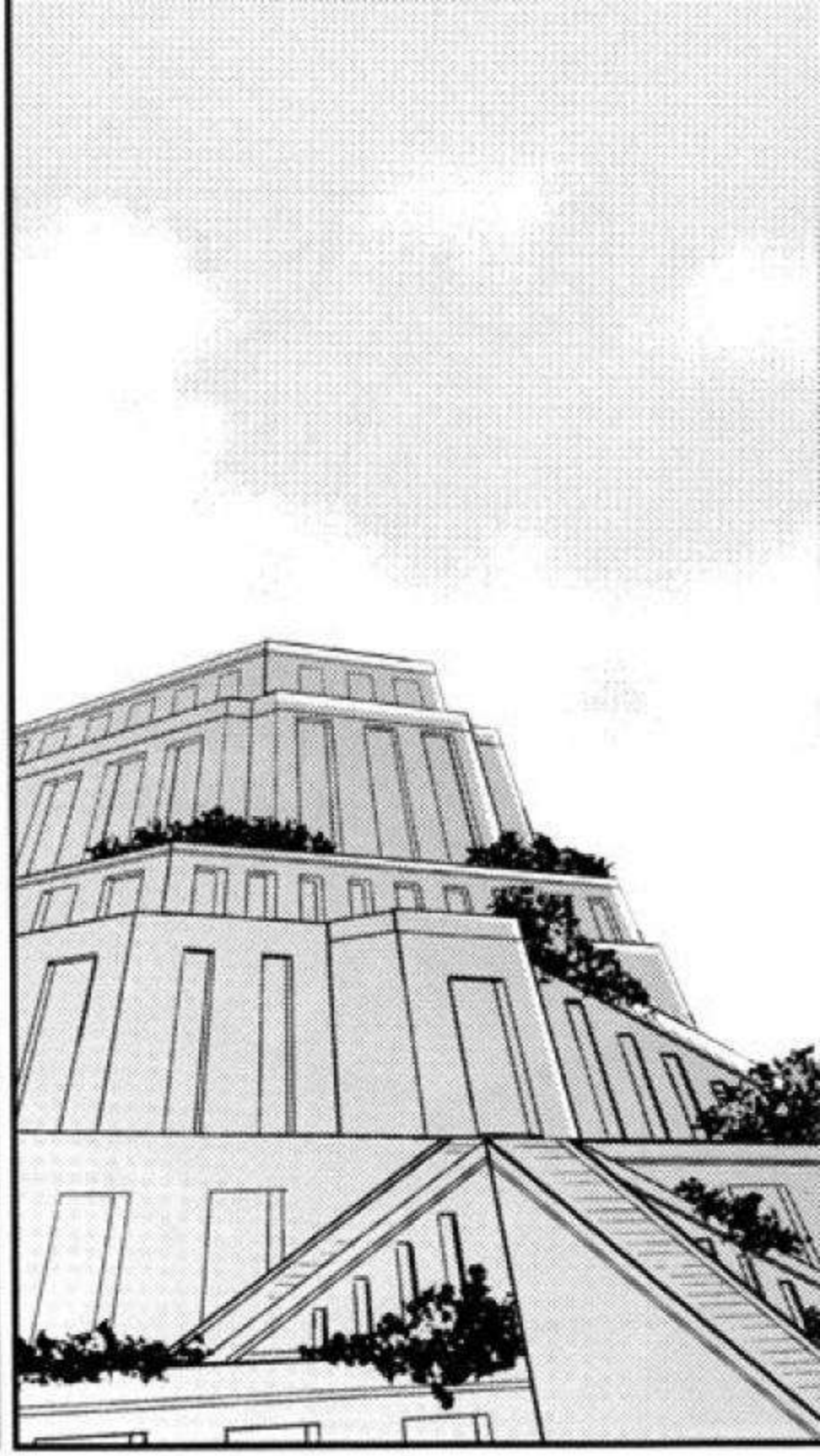
……王……が
気持ち……良さそうに
お休みになって
いらした……ので

しのびなくて……

良い機会だ
暫く休みを
とるがいい!!!

申し訳……
ありませ……ん





私がこなしていた
仕事は——

ほとんど
王がご負担なさる
はず……

せめて
寝ていても
できる仕事を!!

いけません



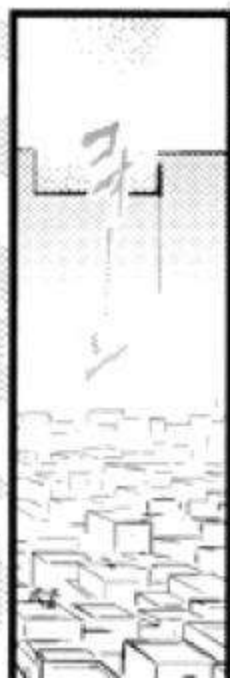
今、祭祀長の
お仕事は
安静になさって
いることです

——仕事!!!

そうですね
ではしっかりと
安静に!!

楽になさっていて
下さい

遠くで
壁を作る音が
聞こえる——



皆、身を粉にして
働いているというのに

数日後

痛みは
ほぼ消えた

部屋でできる
仕事をここにへ

……わかりました

ですがどうか
ご無理なさらないように

重い物を持つたりは……

わかっていきます



さあ早く
私達には
のんびりしている
暇などないのです

できることを
できるかぎり
しなくてはならない

今は有事
なのですから

はい



王には随分と
ご迷惑を
かけてしまった

そうだ

あ・の・者・達・を
ここへ





シドウリ!!!



お……王？



貴様だな？

あの娘共を
私の寢所に
よこしたのは

いずれ劣らぬ
美形と
お気に召しません
でしたか？

は……はい

気に入らぬも
何もあの娘共

我を見るなり
もらしおったわ!!!

おはよう

私の寝所が
台無しでは
ないか!!!

平時ならば
趣向の一つと
愉しめたであろうが

私は疲れて
いるのだぞ!?

ああ……

なんとお詫びしたら
良いのか……

本当に
お疲れなのです……
ああ、目の下に隈が

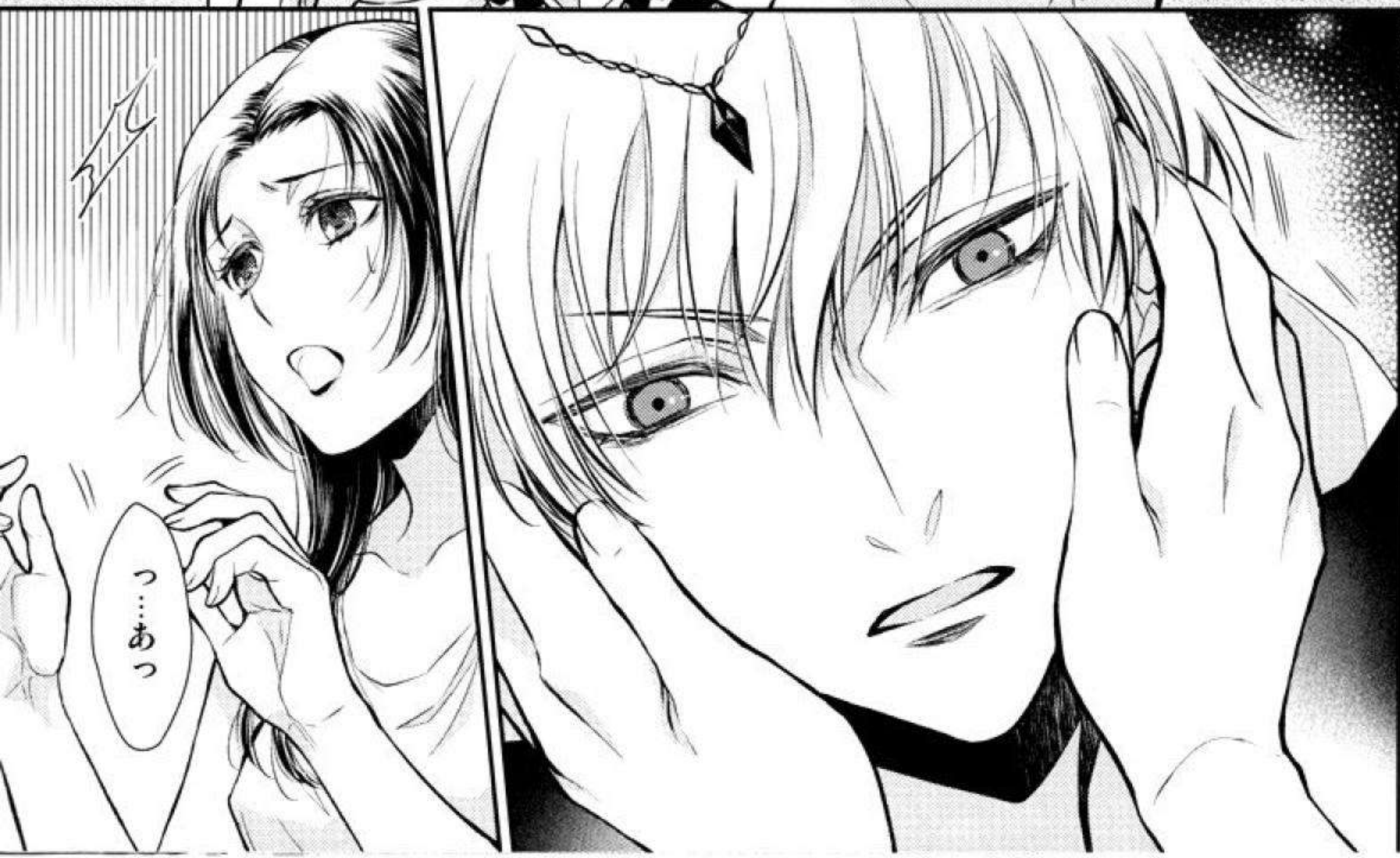
御髪もこんなに
乱れて——

気鬱故の苛烈さ
若き日の王を
思い出します

娘達は
むき出しの王気に
当てられ怯えて
しまったのでしよう



本当に
私が至らぬばかりに
申し訳ありません



っ…あつ

私とした事が
玉体に自ら触れるなど

不敬を
お許し下さい

——よい
特に許す

王の寛容に
感謝します

寝ておれ
貴様にはまだ
安静が必要なのであろう

はい、では失礼して
ですが来週には
政務に戻れます

一ヶ月後には
完治すると……



おおおお王!!!
私はまだお相手
できません

誰が貴様を
抱くと言った
我は疲れている

王の寝所を
穢したのだ
貴様の寝台を
半分我に引き渡せ

あ……はい

部屋は他に
いくらでもあると
いうのに……

寝る時は
んやち

ふん
みずぼらしい部屋だ
祭祀長に上り詰めても
この程度か

いいえ
私には十分な
居室です

欲のない事よな





よいことを
思いついたぞ
今宵は我が
貴様の枕に
なつてやろう

存分に寄りかかり
健やかに
眠るがいい

あの夜
我がしたようにな

い……いえ
ですが

我が褒美を
やるというのに
断るといふか

い、いえ
それこそ
恐れ多くて

我がよいと
言つたのだ

はい
では失礼して

キスッ





シドウリ

ん?

うむ



なぜ私の乳首を吸う?

ちゅる

ちゅる



王がなさったようにせよと仰せられたので

なに!?!
我は眠りながら
貴様の乳首を
吸ったのか!!!

はい

なっっ!!!

可愛い過ぎるだろう
我!!!

はい
とても♡

ならば貴様が
我を起こせなかつたのも
納得がいく

ええ、
ええ

まるで
無垢な赤子のよう
可愛らしさで……

恐れ多くも
子を抱く母の気分に
浸らせて頂きました



ん？

子を産み増やすのも
民の勤め
わかっていような？

もちろんで
ございます

子をなさぬ者は
死した後
冥界で悲惨な生活を
送ることになるのだぞ



……はい
王からのお召しですが
無くなればはいすれ……
とは思っておりません
ですが



なんだ

いつしかウルクの繁栄に
この身を捧げたい
そう思うようになりました





ウルクの母に
なるとでもいうか？
不遜だな

まさか

私の力など
微々たるもの

いくばくかの
力になれたとは
思っておりますが

何もなかった
寂しいだけの
平原に――

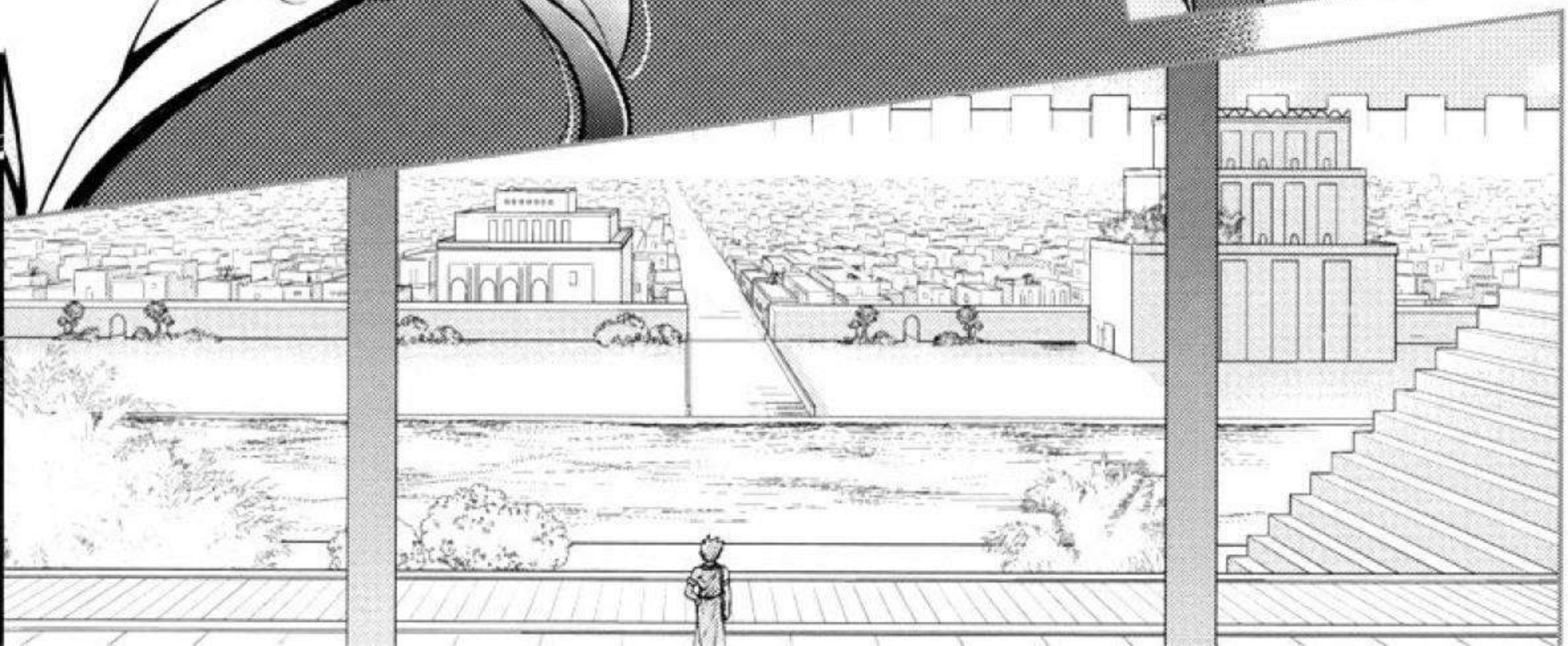
王が都をお作りになられ
そこに人々の
楽しげな声があふれ
満ちていく

王が繁栄という
花を咲かせて行く姿を
傍らで見る事ができたのは……

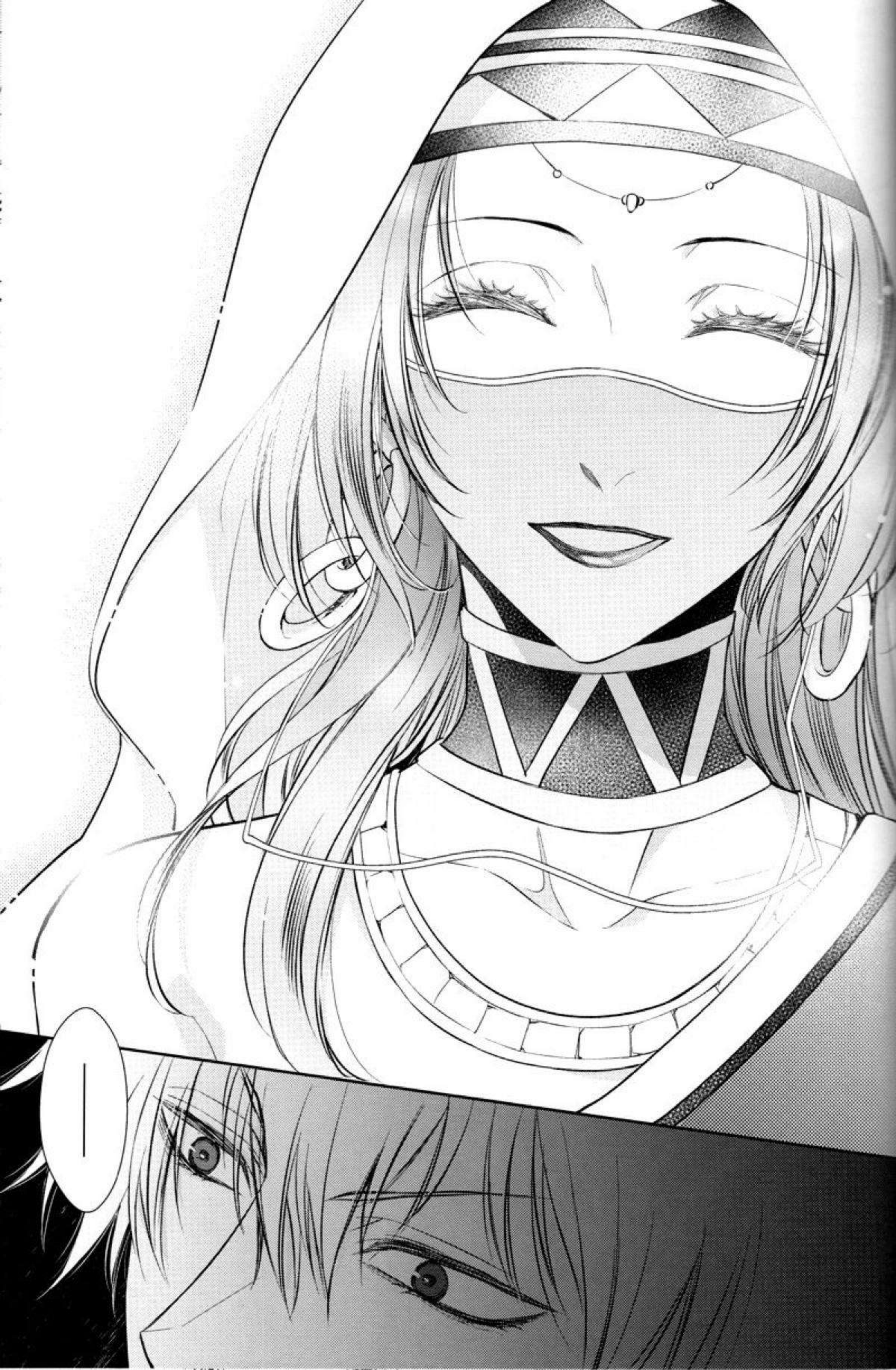


なにものにも
かえがたい
喜びでした

これ以外のものは
いらぬ
——そう
思ってしまったのです









もうよいわ
寝るがいい

王、何か
失礼を
いたしましたか？

寝ろと言ったぞ
我は



—ふん

腹立たしいほど
欲のない事だ

ですが
ご機嫌を損ねられた
ようですので……

よいと言ったな？
聞こえなんだか

ああ、そうか
我に抱かれないと
いうことか



そうまで言うなら
抱き潰して
やってもよいぞ

あばらの一本や
二本では
すまぬだろうかな

ねっ
眠ります



不快だ

あれが消えた時に
消え去ったもの

これは失ったもの

二度と手に入れぬと
自ら誓ったもの



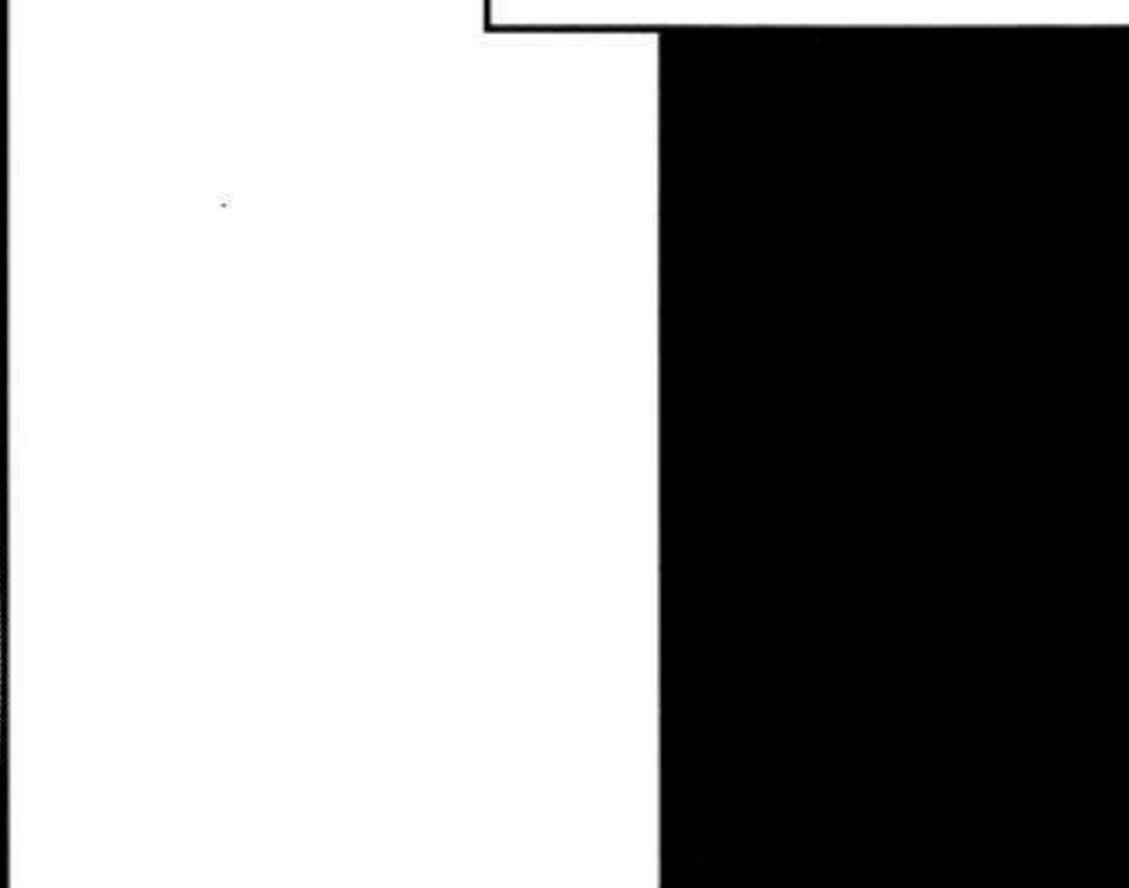
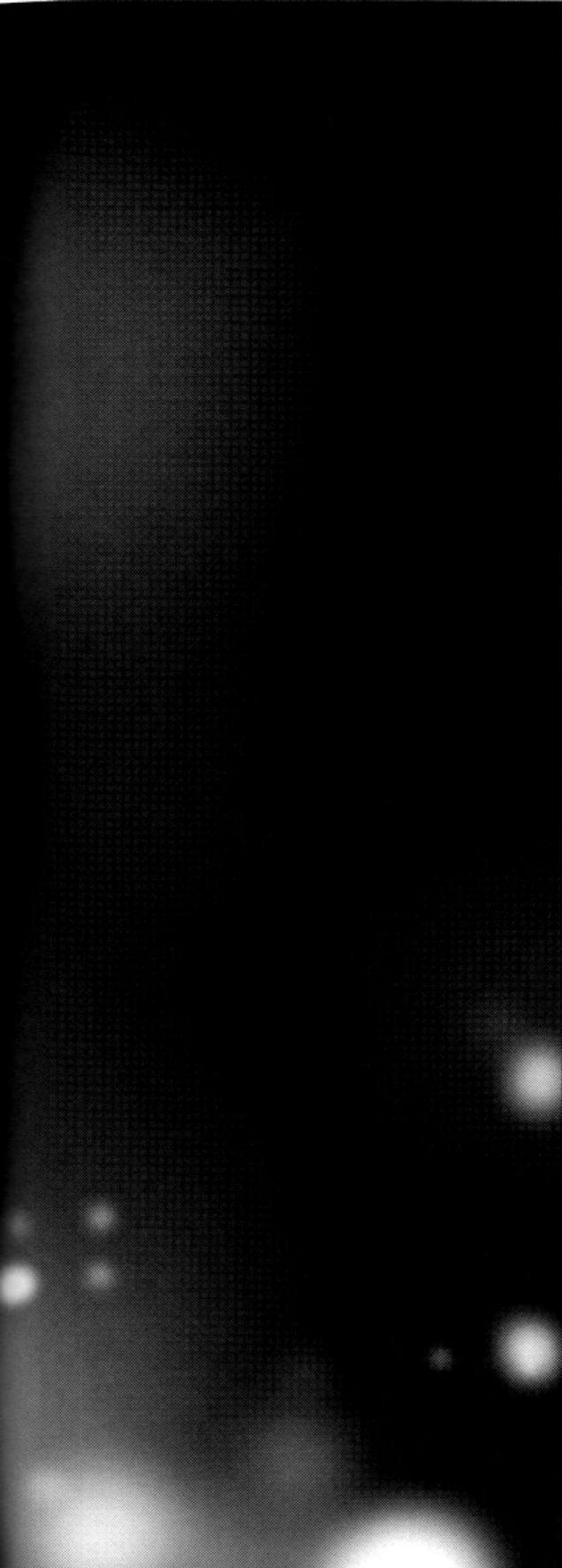
それとも
永遠などあり得ないと
侮蔑しつづけたものか――




無駄だ

くだらん

くだらん





もう時は
残されていない——

眠る 漆

Gilgamesh × Siduri

二冊目のギルシドゥエロ本です。

「終らない宴」の気持ち続きの後日話……みたいな感じで考えていたのですが
ネーム切り出して頭を抱えました……賢王睡眠姦と相性最悪だった!!

速攻飽きる賢王しか妄想できませんでした。

あと、なにげに幼児プレイかな？展開も、慢心王ならこんな反応するかもしれないと妄想
キャラごとにシチュエーションに対する反応を考えるのが大変楽しく

二次の醍醐味だな……と改めて思いました

ギル様ほんと最高

とはいえやはり難しいお方なので、間違っているかも……

あくまで個人的妄想ってことでお気に召さない場合はさらっと流して頂けるとありがたいです
次ページの漫画はラストがあまりにも寂しかったのでちょっと追加してみたのですが

む…無理が有るような……うーん

軽率にラブラブさせたい気持ちも有るのですが、この二人だといろいろ難しい……

ちょっとすれ違っているのも個人的に萌えるのですが!!

シドゥリさんの本当の気持ちについては次の本で描きたいなーと思っています

あ、あと、ちょっと前にCCCプレイしました(こっからちょっとバシあり)

忠臣には優しいギルガメッシュににやにやし、妄想がつのりしました。

ザビ子かわいいなー。王気に当てられてずっとガクブルしてるのをみながら

え、エロを売りにしてるとはいえ、お漏らしプレイは……それはやめろやめるんだ公式……!!

………だっ大丈夫だった。最後の一線は越えなかった……!!よかったよかったハッピーエンド

と思っていたのが今回の話に反映されましたw

ギルガメッシュ叙事詩も読んだので、冥界の話も入れてみたり。いろいろチェックしていますが
まだまだいっぱいチェックしなくてはいけないものがあるって追いついてない感じです

積んであるFakeも読みたいけど時間が!あ、でもシドゥリさんに触れてたところだけ読みましたw
良かった……!!あと茨木ちゃんの幕間とかもう……!補給幸せでした!!

……久しぶりにFateジャンルに来たし、以前は18禁本発行してなかったから

初見の人もいるだろうからエロは控えめにしようかなと思っていた時期もあったなあ(遠い目)

ふ、普段きちっと服着ていて、しっかり者なお方を脱がしてエロ、そして乱れる……!!

楽し過ぎて今回も弾けました。弾けてしまいました……

いや、楽しそうに賢王様がなさっているのもいっぱい描けるし……とか

我ながら気持ち悪いくらいギルシドゥが大好きです

愚か者の愚かな妄想だらけの本ですが、少しでも楽しんで頂ければ幸いです。

仕事に完全復帰

どんどん
処理しますので
どんどん持ってきて
下さい

こちらの案件に
ついてですが……

貴様に任せる

仰せ付かり
ました

おおおー

おおー



復帰して一週間
王からのお召しはない

ここはやはり
見目麗しく
胆力のある娘を
手配して――

今度こそ!!!

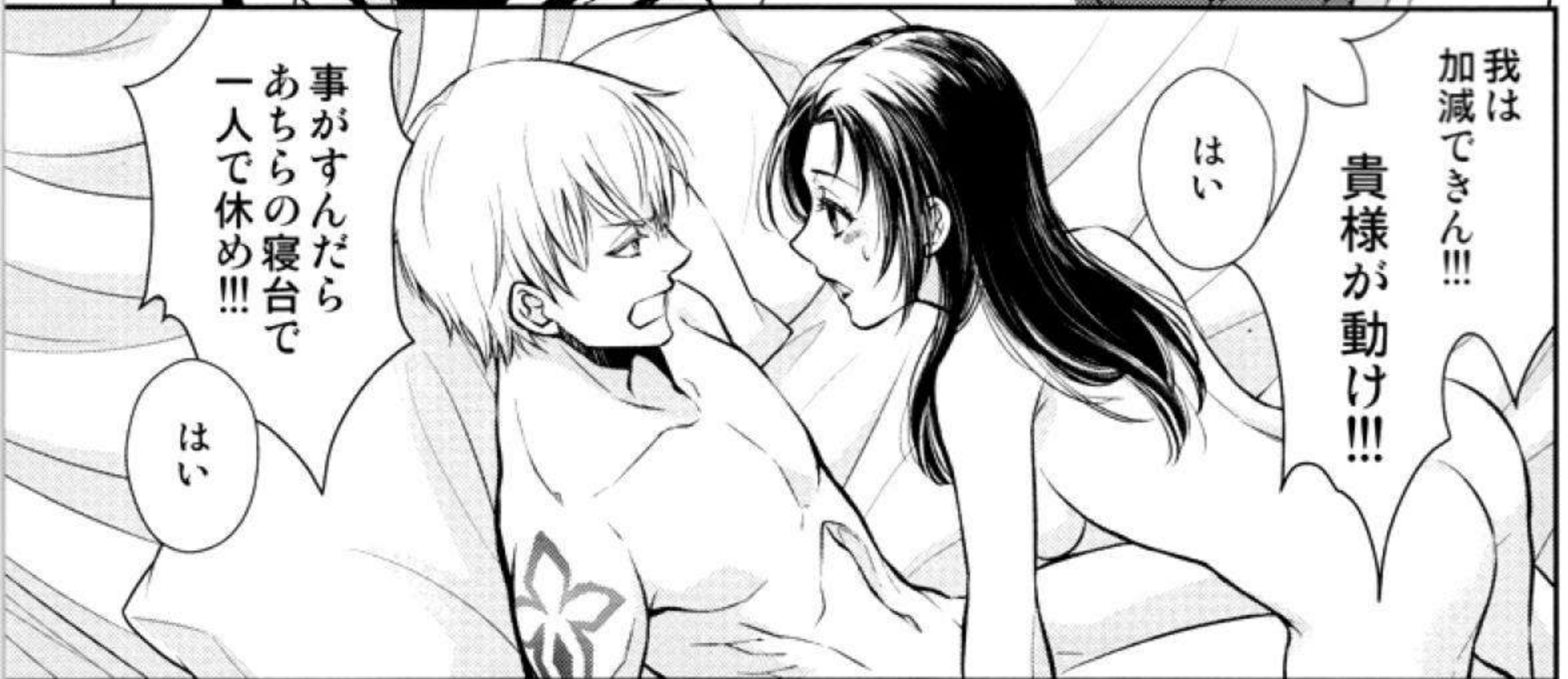
また良からぬ事を
考えているな?

この多忙な中
面倒ごとは
ごめんだぞ?





貴様でよいわ



我は加減できん!!!

貴様が動け!!!

はい

事がすんだら
あちらの寝台で
一人で休め!!!

はい



寝所では
昔と変わらぬ
暴君ですね

全盛期の悪行たたって
気遣い気付かれず

Fate/Grand Order
unofficial fanbook no.04
MAMIYA [RIX] PRESENTS
2017.8.12
WEB ; <http://rix.vv.cx>
MAIL ; m@rix.vv.cx
PIXIV ID = 464880
print ; SUNGROUP CO.,LTD.




この本は個人的に作られた非公式ファンブックです。
原作者様・制作者様およびすべての版元とは関係ありません。
不要の際は廃棄、あるいは中古同人誌店など一般の方の
目の触れない目に触れぬようご配慮お願いします。

禁止

ネットオークション・フリマアプリへの出品
WEB等へのアップロード無断転載、複製複写、転用、
購入者個人用途以外のスキャン・デジタル化等

※本書の無断違法公開を確認した際は
検索サイトへのDMCA侵害申請・
サーバー会社・広告配信・スポンサーサイト・
アフィリエイト・ドメイン所得サイト等への通報、
及び悪質な場合は損害賠償の請求等、相応の対応を行います。

An illustration on the left side of the page shows a hand with pinkish skin holding a thick, long strand of purple hair. The hair is rendered with fine lines and shading, giving it a soft, flowing appearance. The background is a light, pale purple with some faint, larger-scale purple shapes that suggest a draped fabric or a misty atmosphere.

Gilgamesh
×
Siduri

Fate/Grand Order
unofficial fanbook no.4
MAMIYA [RIX] PRESENTS
2017.8.12